

☆ 特別展示のご紹介

～沖縄総合事務局 農林水産部「消費者の部屋」の取組みを紹介します～

● 12月の特別展示

| 日 程 | テ ー マ | 入場者数 |
|-------------|---------------------|------|
| 12月3日～12月5日 | 沖縄の酪農・乳業について考えてみよう！ | 250人 |

◆ テーマ：沖縄の酪農・乳業について考えてみよう！

沖縄県における畜産の農業産出額は約385億円で、農業産出額全体の44%を占める基幹部門となっています。そのうち、乳用牛については約42億円で、近年は飼養戸数、飼養頭数ともに減少傾向にあり、県内の生乳需要に応えうる生乳生産基盤の確保が求められています。

一方で、若手の酪農経営者に加えて新たに酪農を志す新規就農者が増加してきており、今後の沖縄の酪農をリードしていく担い手として期待されています。

そのような中、県内における乳用牛の飼養状況、酪農を取り巻く環境及び酪農の担い手として期待されている酪農経営者を紹介したパネルの特別展示を開催し、併せて、来場者には県産牛乳の試飲やバター作りを体験していただきました。

また、12月3日には本庁舎の快適空間に「ふれあい広場」を開設し、天久小学校の児童等に乳搾りの体験や子牛の心音を聞いてもらうなど、牛とのふれあいを楽しんでいただきました。



パネル展の様子



バター作り体験



ふれあい広場の様子
(酪農家の1日の仕事を紹介)



乳搾り体験の様子



乳搾り体験の様子



子牛とのふれあいの様子